



神戸女学院  
の基礎知識

# 神戸女学院の基礎知識

神戸女学院ってこんなところ

## I 基本編

神戸女学院には不思議がいっぱいあります。

### Q1 西宮にあるのにどうして「神戸」女学院？

A1 誰もが一番初めに感じる神戸女学院の最初の謎がこれ、校名に関するものです。これは学校の歴史と深い関わりがあります。

神戸女学院は1875（明治8）年10月12日に神戸で女子のための寄宿学校として創立されました。当時の名前は「女學校」（「おんながっこう」と読みます）。創立者はアメリカからやってきたキリスト教の宣教師（missionary）であるタルカット先生（Miss Eliza Talcott）とダッドレー先生（Miss Julia Elizabeth Dudley）の



谷門の門柱

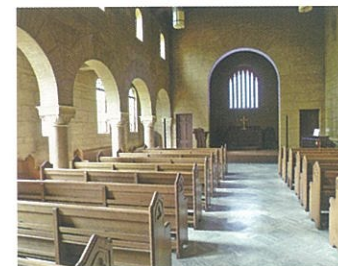
お二人。場所は現在私立神港学園のあるところ。神戸の地で誕生し、神戸で育ち、1891（明治24）年に今に続く大学の基礎ができ、1894（明治27）年に現在の校名「神戸女学院」となりました。

そして1933（昭和8）年に手狭になった神戸から今のキャンパス西宮・岡田山に移転してきました。ですから西宮にあっても学校の名前は「神戸女学院」なのです。ちなみに旧キャンパス正門の門柱は、今、谷門にあります。

### Q2 神戸女学院はキリスト教の学校なの？

A2 神戸女学院はキリスト教の宣教師によって創立された学校です。現在、伝道会（宣教師を派遣する団体）の経営ではありませんが、教育方針には変わることなくキリスト教主義を掲げています。ですから、毎日礼拝やチャペルアワーがあり、聖書、キリスト教の授業が設けられています。

一口にキリスト教といっても、いくつかの流れがあります。神戸女学院はそれらのうちプロテスタントの1つ会衆派（組合）教会の信仰を基盤にしている学校です。プロテスタントでは教職者（キリスト教を教え、伝える人）を牧師（カトリックでは神父）といい、教会で行なう集まりを礼拝（カトリックではミサ。ミサは聖体拝領という儀式を行なう礼拝のこと）といい



ソールチャペル

ます。神戸女学院ではその牧師をチャプレンと呼んでいます。もともとチャプレンとは軍隊に将校として任官して宗教業務を行なう従軍牧師を指しましたが、その後広く大学や病院で活動する牧師、つまり教会以外で活動する牧師のことをいいます。

### Q3 学院標語「愛神愛隣」って何？

A3 講堂の正面入口から入ると、3箇所ある扉の中央の扉の上に大きな4つの漢字が並んでいることに気づきます。左から「隣愛神愛」と書かれています。これは1933年に校舎が建ったときに作られたものなので、右から左に読むのが正解です。「愛神愛隣」—これが学院標語です。



学院標語とは、キリスト教精神による人格形成を目指す教育を掲げる神戸女学院の教育方針を一言で表わしたものです。「『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』」(マタイによる福音書22章37節~39節)という聖書の箇所から来ています。

神を愛する、隣人を愛するとはどういうことなのか、聖書やキリスト教の時間、また礼拝やチャペルアワー、さまざまな授業や日々の学校生活を通して、直接間接に、一人一人がその意味を感じ、学び取ってKobe College Spiritを持った神戸女学院生になってください。

#### Q 4 キリスト教の学校なのにどうして学校の中に神社があるの？

A 4 デフォレスト記念館の前にある小さな神社は岡田神社といって、実はとても由緒のある神社なのです。古代日本の社会制度



(律令制)の補助となるような法律書(もしくは規則書)に「延喜式」(927年完成)というものがあります。この神社はその「延喜式」に名前が出ています。ですから神戸女学院がここに移転してくる遙か昔からここにあります。

学校が神戸から岡田山に移転を決めたとき、予定地内に神社のあることがわかって、関係者は大いに驚いたといひます。そこで学校側は、他の場所に移転してもらおうと神社側に相談しましたが、受け入れられず、飛び地という形で現在の位置に神社が残った

のです。ですから石の柵で囲われている内側は神戸女学院の敷地ではありません(ちなみに、岡田神社は、神戸女学院移転当時は小さな祠でした)。

#### Q 5 創立者記念日って何？

A 5 神戸女学院には2つの記念日があります。10月12日の創立記念日と5月22日の創立者記念日です。創立記念日は学校のできた日をお祝いする日ですからどこの学校にもあります。では創立者記念日とは何の日でしょうか。文字通り、「創立者」を記念する日で、1909年にできました。5月22日は神戸女学院の創立者で初代校長であったタルカット先生のお誕生日に当たります。

そもそもどうしてこの記念日ができたかというところ…。神戸女学院は外国人が作った私立の学校でした。1875年から学校はあったのですが、1909年に政府から四年制専門部(今でいう大学)として正式に認可を受けました。時の院長ソール先生(Miss Susan Annette Searle)はこのことを喜び、学校が大きくなり世間に認められるようになったのも、創立者の先生をはじめ多くの人々が頑張ってくださったからこそと、感謝の気持ちを込めてタルカット先生を学校に招いてお誕生会を開きました(このときもう一人の創立者ダッドレー先生は亡くなっていました)。このことがきっかけとなり、この日が創立者記念日と定められました。



タルカット先生

その後、1911年にタルカット先生はお亡くなりになりましたが、お祝いの会は墓前礼拝に形を変えて今日に続いています。

Q 6 墓前礼拝って何をするの？

A 6 墓前礼拝は創立者記念日のメイン行事です。タルカット先生のお誕生祝に始まった創立者記念日ですが、先生の亡くなられた後も、記念日はなくならず、先生の生涯を覚える礼拝に形を変えて守られてきました。



タルカット先生は神戸女学院（当時は女学校とっていました）を創立後、

数年で後を2代目校長クラークソン先生（Miss Virginia Alzade Clarkson）に託して学校を去りました。しかし、その後日本各地で伝道され、晩年は神戸を拠点に活動を続けていました。1911年に先生は神戸で亡くなり、神戸の春日野墓地に葬られましたが、その後、神戸市の区画整理のため、外国人墓地は修法ヶ原に移されました。ここで毎年、墓前礼拝は行なわれています。墓前礼拝には教職員だけでなく、学生の皆さんも参加できます。中高部では中学1年生のときに遠足で修法ヶ原を訪れて、墓前礼拝を守ります。大学では参加者募集がありますので、5月になったらお知らせに注意してください。

Q 7 「愛校バザー」って普通のバザーとは違うの？

A 7 神戸女学院で毎年5月に開かれるバザーを「愛校バザー」といいます。大学、中高部、めぐみ会（同窓会）も一体となって行なわれる1911年から続いている大行事で、もしかすると文化祭や大学祭よりも華やかかも？

さてこの「愛校バザー」という名前は、創立者記念日と関係があります。1909年から続いている5月22日の創立者記念日、

この日はタルカット先生を覚える墓前礼拝をしますが、5月22日を含む一週間を愛校週間と呼び、特別な礼拝を守り、学校のこれまでの歩みと、学校に関わってきたさまざまな人々に思いをはせる一週間になります。そしてその週の土



大正時代のバザー（山本通校舎）

曜日に学院挙げてバザーを行なうことが恒例となっています。この日は卒業生にとってはホームカミングデイのようなもの。



1980年代のバザー

学生だけでなく、教職員、同窓生も一緒になってバザーを盛り立てます。

ところで、バザーの開始、終了時には礼拝が守られているのはご存知ですか？ぜひご参加ください。

Q 8 神戸女学院の校舎って文化財なの？

A 8 岡田山キャンパスは伝道者・建築家として有名なヴォーリズ（William Merrell Vories）によって設計され、移転当時は17棟ありました。1995年の阪神淡路大震災を経てもキャンパスは創建当時の姿を留め、12棟が現存しています。2014年9月18日、キャンパスに残るヴォーリズ校舎群が国の重要文化財に指定されました。



## II 記念館編

神戸女学院の建物には名前のついているものがあります。カタカナの名前は学校の教育に関わった人に由来します。その由来をご紹介します。

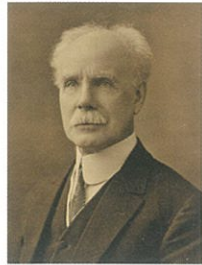
### A ジョージ・オルチン記念音楽館（オルチン館）



神戸女学院100周年記念館。

George Allchin (1852-1935) 師は日本の讃美歌創りに大きな貢献をした宣教師です。山本通時代、非常勤で音楽を教授したことがあります。

神戸女学院の理事をつとめ、帰国に際して、自ら蒐集した日本の初期讃美歌に関する貴重なコレクション（オルチン・コレクション）を学院に寄贈しました。また、岡田山キャンパスの樹木等のレイアウトに協力したとも言われています。



### B エミリー・ブラウン記念館（EB館）



神戸女学院第3代校長・院長を務めた宣教師 Emily Maria Brown (1858-1925) 先生は4代目の院長となるソール先生とともに、中学校程度だった学校を女子のための高等教育機関（大学レベル）にするために尽力しました。そしてそれを実現し、校名を神戸女学院と改称しました。



### C デフォレスト記念館（D館）



神戸女学院100周年記念館。

Charlotte Burgis DeForest (1879-1973) 先生は神戸女学院第5代院長です。大阪生まれの仙台育ちで、アメリカで高等教育を受けたあと、宣教師として来日し、生涯を神戸女学院での教育に捧げました。第二次世界大戦に

いたる困難な時代に学校を守り、発展させ、神戸から現在の西宮・岡田山キャンパスへの移転を果たしました。神戸女学院中興の祖といわれています。



### D エミリー・ホワイト・スミス記念講堂（講堂）



Emily White Smith (1835-1929) さん、学内ではスミス夫人と呼ばれています。スミス夫人は婦人伝道会会長として永年学校を支援してくださり、その後神戸女学院のアメリカにある支援団体 Kobe

College Corporation—KCC（現・Kobe College Corporation Japan Education Exchange—KCC-JEE）設立の中心メンバーで終身会員となりました。KCCは岡田山へのキャンパス移転のための募金活動をするために設立された団体で、ここで集められたお金によって岡田山の校舎が建てられました。



### E ソール記念礼拝堂 (ソールチャペル)



Susan Annette Searle (1858-1951)  
先生は神戸女学院第4代院長を務めた宣教師で、院長職をデフォレスト先生に譲った後も名誉院長として神戸女学院のために尽くしました。日本が国粋主義化、軍国化していくミッションスクールにとって厳しい時代に、女子高等教育を守った



先生は、常に神に祈り、物事を慎重に判断していったことから「祈りの人」とあだ名されました。このことにちなんで礼拝堂に名前が付けられました。

### F メアリー・アンナ・ホルブルック記念館 (H館)



Mary Anna Holbrook (1854-1910) 先生はアメリカの婦人としてはじめて医学博士号をとった人の一人といわれる婦人宣教師です。マウントホリヨーク出身の先生は「日本にマウントホリヨークを作りたい」と考え、神戸女学院が

女子高等教育を始めようとしていたときに赴任し、理化学教育の振興のために尽力しました。現在の人間科学部の祖ともいえる先生です。



### G ジュリア・ダッドレー記念館 (JD館)



震災復興記念館。

Julia Elizabeth Dudley (1840-1906) 先生は創立者の一人で、初代舎監を務めた宣教師です。生徒たちから



母と慕われ、『育幼艸』という育児書を書いています。先生は学校創立後数年で学校を離れ、神戸に女子のキリスト教伝道者養成の学校(神戸女子神学校)を創立し、生涯、伝道者養成に尽力しました。

### H メアリー・アンド・グレイス・ストウ学生寮 (寮)

震災復興記念館。



Mary Elizabeth Stowe (1878-1972) 先生 (左・姉) と Grace Hannah Stowe (1882-1967) 先生 (右・妹) は姉妹の宣教師です。メアリー先生は神戸女学院



の英語教育に口述による教授法を導入して、現在に続く英語教育の基礎を築いた先生です。グレイス先生は、専門は生物学でしたが、家政学や英語学を担当するなど柔軟性をもって現場のニーズに応え、会計や院長代行など行政的にも寄与した方でした。



## I アンジー・クルー記念館（クルー館）



震災復興記念館（中高部）。

Angie Crew (1896-1973) 先生は永年中高部で英語を教えた宣教師です。メアリー・ストウ先生が導入した口述による英語教育法（オーラル・メソッド）を発展させて、神戸女学院の英語教育の代

名詞ともいえる「クルーメソッド」という教授法を確立しました。中高部では現在でもこの方法で英語教育が行なわれています。



## J ヴァージニア・クラークソン記念館（クラークソン館）

中高部の校舎です。2代目校長を務めた宣教師 Virginia Alzade Clarkson (1851-1940) 先生は、それまで正式名称のなかった学校名を「英和女学校」と決めました。そして5年制の教育課程を整備し、クリスチャン養成のミッションスクールから知的教育と宗教教育



の両立を目指す学校にしました。小学校程度だった「女学校」を中等教育機関として確立し、以降の神戸女学院の発展の道筋をつけた先生です。



## K イライザ・タルカット記念館（タルカット館）



神戸女学院100周年記念館（中高部）。

Eliza Talcott (1836-1911) 先生は創立者の一人で、初代校長を務めた宣教師です。市井の伝道のため後

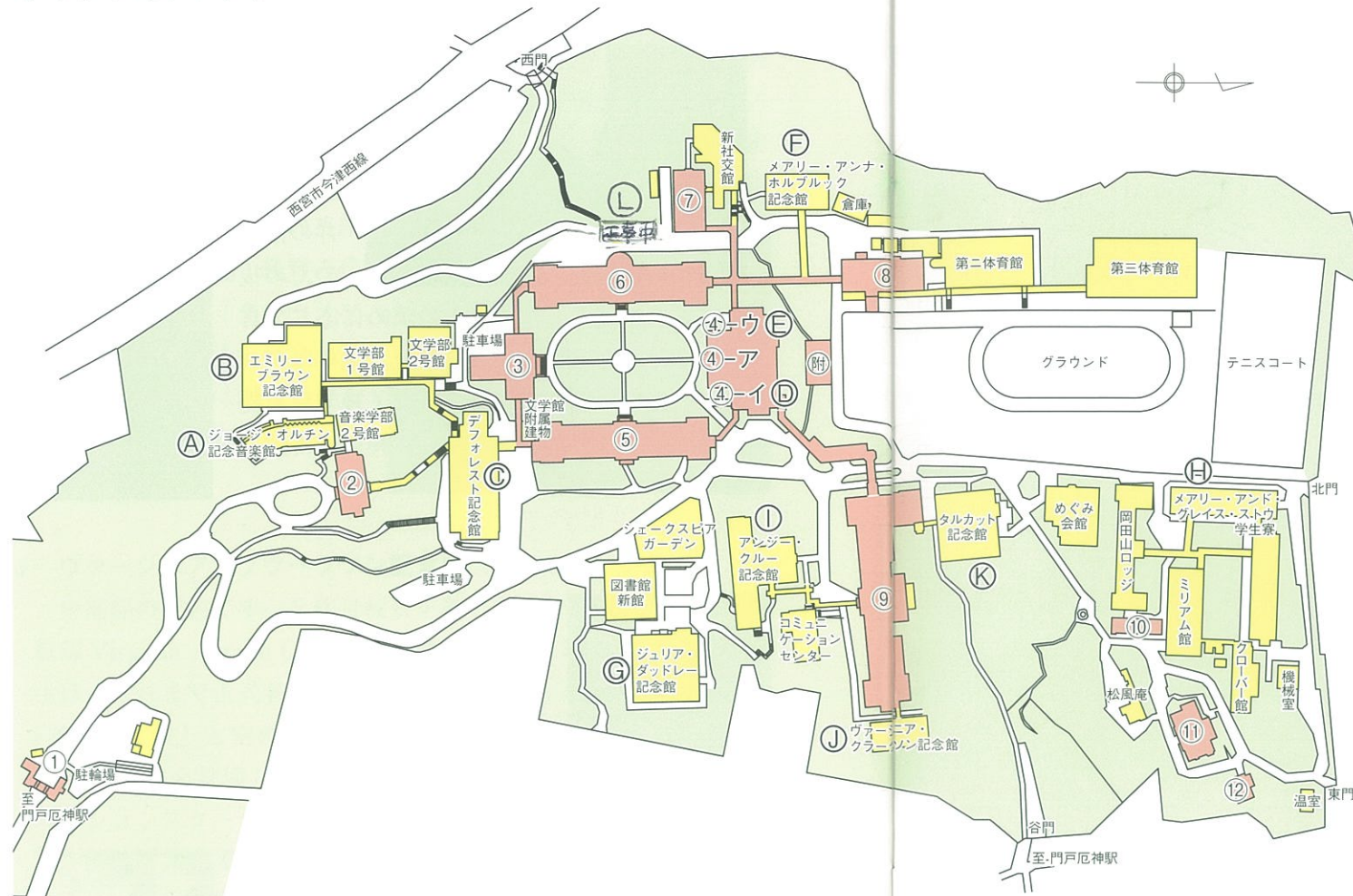
任に学校を譲って、他の人の求めに応じて日本各地で伝道活動を続けました。晩年はダッドレー先生が創立された神戸女子神学校を拠点に活動し、神戸で亡くなり、神戸の外国人墓地に葬られました。



**例外：**大学にはミリアム館という校舎がありますが、これは先生の名前ではなく、聖書に登場する人物からとられています。また、クローバー館は人名とは関係がありません。

\* 学院の歴史についてもっと詳しく知りたいという方は、大学図書館本館1階にある学院史料室までおいでください。皆さんのお越しをお待ちしています。

# キャンパスマップ



## 神戸女学院のヴォーリズ建築

- ① 正門・門衛舎
- ② 音楽館
- ③ 図書館
- ④ 総務館 (ア)  
講堂 (イ)  
礼拝堂 (ウ)
- ⑤ 文学館
- ⑥ 理学館
- ⑦ 社交館
- ⑧ 体育館
- ⑨ 葆光館 (中高部)
- 附 パーゴラ
- ⑩ 汽罐室と煙突
- ⑪ ケンウッド館
- ⑫ エッジウッド館

## 神戸女学院の記念館

- Ⓐ ジョージ・オルチン記念音楽館
- Ⓑ エミリー・ブラウン記念館
- Ⓒ デフォレスト記念館
- Ⓓ エミリー・ホワイト・スミス記念講堂 (④-イ)
- Ⓔ ソール記念礼拝堂 (④-ウ)
- Ⓕ メアリー・アンナ・ホルブルック記念館

- Ⓖ ジュリア・ダッドレー記念館
- Ⓖ メアリー・アンド・グレイス・ストウ学生寮
- Ⓖ アンジー・クルー記念館
- Ⓖ ヴァージニア・クラークソン記念館
- Ⓖ イライザ・タルカット記念館
- Ⓖ 新館(工事中)





「神戸女学院の基礎知識」

2019年4月初版発行

2021年4月2刷

発行・神戸女学院史料室

〒662-8505 西宮市岡田山4-1

TEL 0798-51-8503